



平成 28 年 9 月発行
発行部数 24,000 部
編集・発行
(公財)横浜市緑の協会
横浜市こども植物園

よこはま こども植物園だより

No.147 (秋号)

〒232-0066 横浜市南区六ツ川 3-122
TEL 045-741-1015 FAX 045-742-7604
開園 9:00-16:30 (第 3 月曜日は休園、
祝日の場合は翌日)
<http://www.hama-midorinokyokai.or.jp/kodomo/>

似ているものを見わけよう【2】

横浜でよく見られるカマキリの種類を紹介します。似ているものもありますが、見わけのポイントを参考にして見わけてみよう。



交流スペース
梅田 塾長



横浜のカマキリ

凡例



すみか



体長



見わけポイント

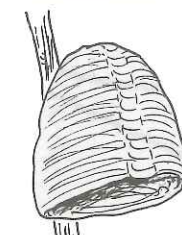
カマキリの食べもの



生きている昆虫
バッタ、チョウ、
セミなど

卵(卵しょう)*くらべ

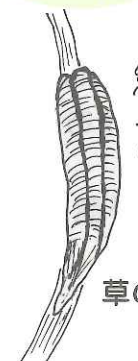
オオカマキリ



球形

枝や草の茎

チョウセンカマキリ



細長い

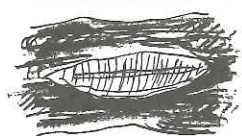
草の茎

ハラビロカマキリ



枝

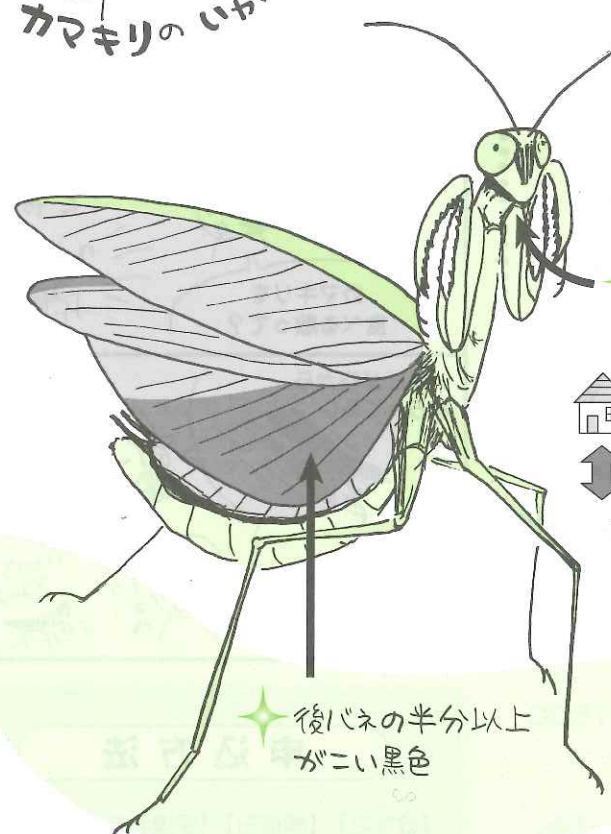
コカマキリ



どうぼく うら
石や倒木の裏にあり
見つけにくい。

*卵しょうとは

泡状の物質が固まったもので、空気を含んでいて、急げきな温度変化や衝撃から中の卵を守る効果があります。オオカマキリで 300 個ほどの卵が入っています。



オオカマキリ

くびもとが
あやい黄色



林縁、草地、花だん

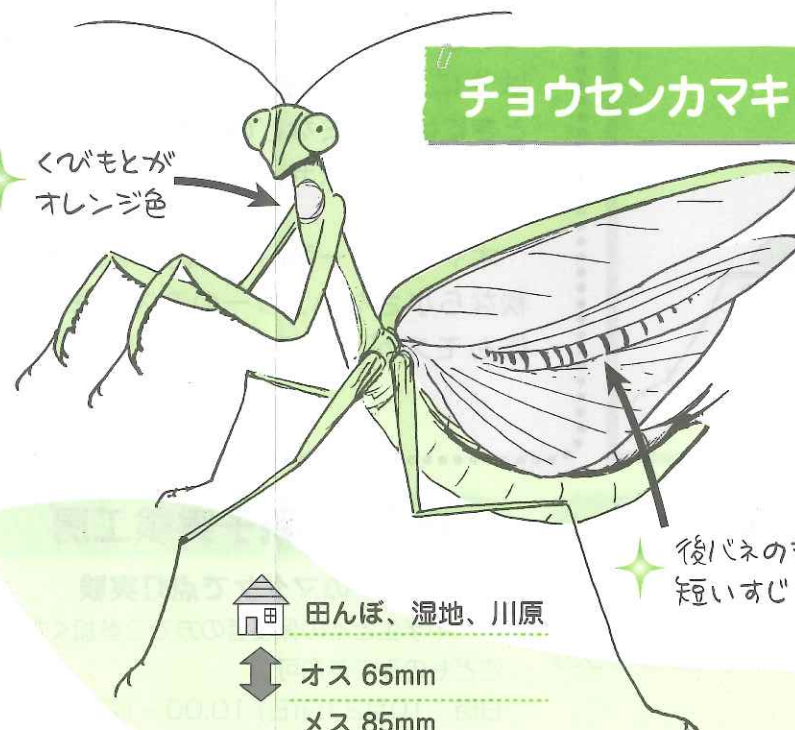


オス 75mm

メス 90mm

成虫がみられる時期
は 7 月～11 月

後バネの半分以上
が濃い黒色



チョウセンカマキリ

くびもとが
オレンジ色



田んぼ、湿地、川原



オス 65mm

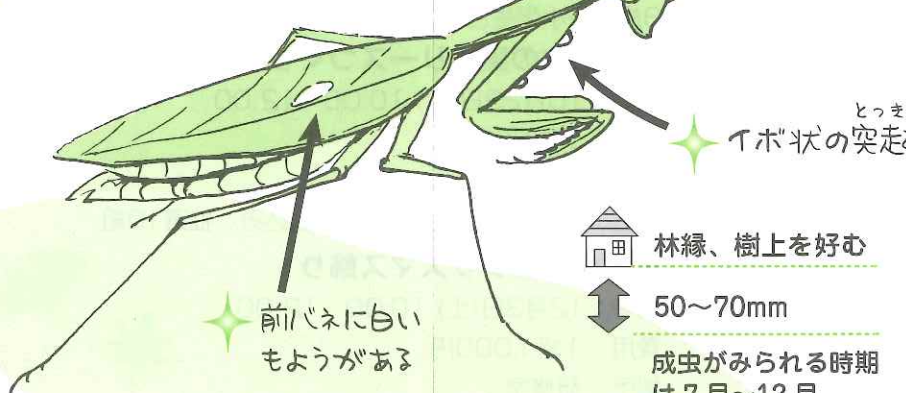
メス 85mm

成虫がみられる時期
は 7 月～10 月

後バネのもようは
短い

ハラビロカマキリ

腹部(ハラ)の幅が広い



前バネに白い
もようがある



林縁、樹上を好む



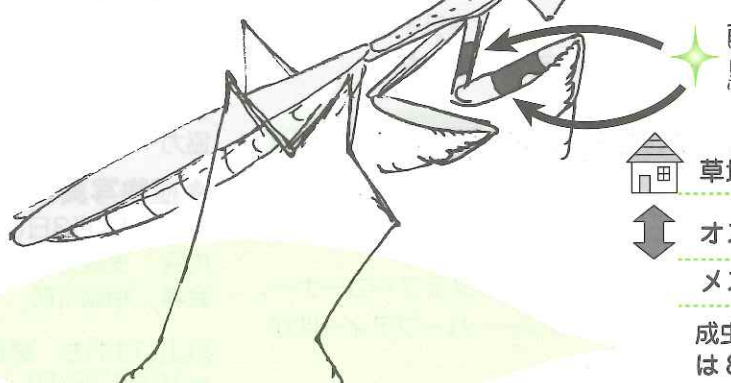
50～70mm

成虫がみられる時期
は 7 月～12 月

イボ状の突起

コカマキリ

かっ色のものが多い
まよに緑色のものもいる



前あしの内側に
黒いもようがある



草地、林縁



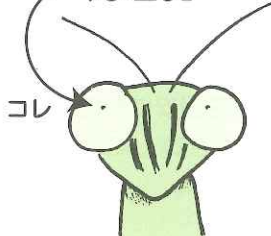
オス 40mm

メス 65mm

成虫がみられる時期
は 8 月～11 月

眼のひみつ

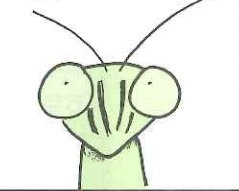
ぎどうこう
偽瞳孔



ふくがん
複眼の中に黒い点が
あるが瞳ではない



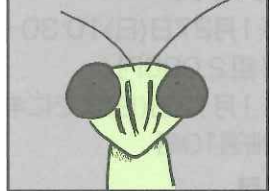
ひる



複眼は緑色



よる



複眼は黒色

!色かわる!

謎のカマキリ ～ムネアカハラビロカマキリ～

このカマキリはアジアに広く分布するハラビロカマキリ的一种です。どのようにして日本に入ってきたのかは分かっていません。2010年頃に福井県で最初に発見されました。分布を広げていて横浜市内でも卵しょうが確認されています。

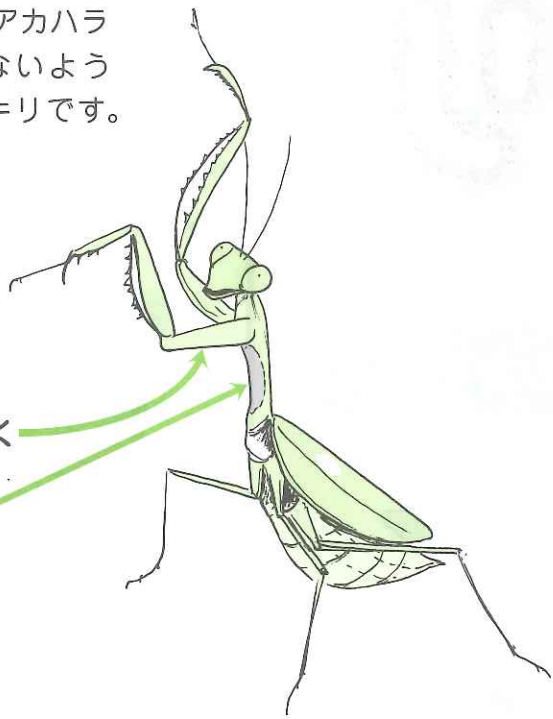
在来種のハラビロカマキリよりも一回り大きく、このカマキリが入りこむと生態が似ているハラビロカマキリの個体数が減少すると言われています。いつのまにか横浜のハラビロカマキリがムネアカハラビロカマキリにおき変わってしまわないようみんなで注意しなければならないカマキリです。

見分けのポイント

●ハラビロカマキリより一回り大きい

前肢基節にイボ状突起はなく、小さく
とがったトゲ状突起がある

●胸が長く、胸の裏が赤い



横浜市こども植物園

秋のイベント

落ち葉感謝祭

日時：11月3日(木・祝) 10:00～15:00

場所：池の前広場他

内容：秋遊びスタンプラリー（クズの輪投げ、ススキのやり投げ、カキの種飛ばしに挑戦。参加プレゼントあり）、リースづくりなどのクラフトコーナー、木の实遊びコーナー、ヨーヨー釣り、ドライフラワー・ハーブティーほか園内収穫物の販売など

こども植物園秋祭り

日時：11月5日(土)・6日(日) 10:00～15:00

場所：研修室、池の前広場

内容：花苗交換会やリース作りなどのクラフトコーナー、ヨーヨー釣り、ドライフラワー・ハーブティーほか園内収穫物の販売など

横浜市こども植物園の野鳥

モズ 小さな冬のハンター

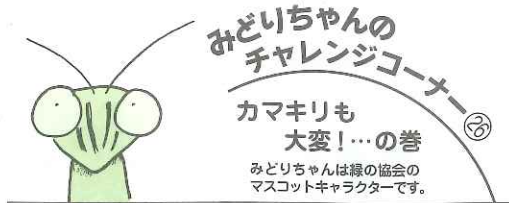
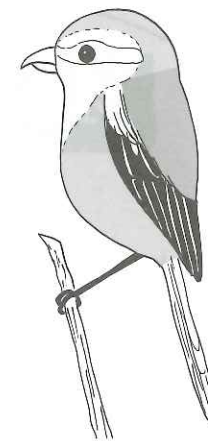
こども植物園には20mをこえる高さのメタセコイアの並木があります。この並木は春から夏にかけて黄緑色の細かい葉っぱにおおわれていますが、秋になると茶色に変化してとてもきれいになります。少し高いバラ園から見るとメタセコイアの全体がよく見えますが、この木のてっぺん(こずえ)にとまってかん高く鳴く鳥が、秋にはよく見られるようになります。モズという鳥がなわばりを主張している姿です。

モズはなわばりを作る鳥です。秋になわばり争いをして、勝てばなわばりの中でたった1匹で冬を越します。なわばりの中にほかの個体が入って来そうなときは、すぐに追いかけて、外に追い出します。えものを見つけると飛び立って、近づくと一緒に飛びかかります。なわばりはモズの仕事場なのです。

モズといえば「はやにえ」という言葉を思い出す人も多いでしょう。モズは秋にえものを捕まえると、ひとまず枝に突き刺します。ときどき、バッタなどが木の枝などにさしてあるのを見かけますが、何のために突き刺すのかははっきりわかっていません。冬の生き物が少ない時期の保存食ともいわれますが、はやにえを後で食べないこともよくあります。カエルやトカゲ、ときにはネズミなどの小動物もえじきになることもあります。体は大きくはありませんが、ハンターと呼んでもいいですね。

木や電柱の一番高い所にいる鳥はいろいろいますが、その季節が秋なら小さなハンターのモズを見つけてみましょう。もうすぐ横浜にもモズがやってくる季節です。

(横浜市こども植物園 田中 浩)



ママー 大きなカマキリがいるー



申込方法

【教室名】【開催日】【保護者氏名】【お子様氏名・年齢】【ご住所】【電話番号】を明記の上、ハガキ・Fax・電子メールで申し込み締切日までにお申し込みください（締切当日必着）。お子様1人に保護者1人でお申し込みください。一度に複数組でお申し込みになられても別々に抽選になります。抽選結果を開催日の10日前を目安にお知らせします。お申し込み後に参加が難しくなった場合はすぐにご連絡ください。

メールアドレス：
r-moushikomi.199@hama-midorinokyokai.or.jp
※お電話での受け付けはいたしませんので、ご注意ください。

親子実験工房

◆エジソンのマダケで点灯実験

小・中学生とその保護者の方で参加ください。中学生はこどものみの参加可

日時：10月23日(日) 10:00～12:00

費用：1組500円

場所：研修室

申込：10月9日(日)までに申し込み。抽選10組

こどもクラフト教室

3歳児～小学生とその保護者の方で参加ください。

◆秋の木の実のリースづくり

日時：10月29日(土) 10:00～12:00

費用：1組500円

場所：研修室

申込：10月15日(土)までに申し込み。抽選10組

◆木の実のクリスマス飾り

日時：12月3日(土) 10:00～12:00

費用：1組1,000円

場所：研修室

申込：11月19日(土)までに申し込み。抽選10組

親子食文化教室

◆干し柿づくり

小・中学生とその保護者の方で参加ください。

日時：11月12日(土) 13:30～15:30

費用：1組500円

場所：研修室

申込：10月29日(土)までに申し込み。抽選10組

親子フラワーアレンジメント教室

小・中学生とその保護者の方で参加ください。

◆クリスマス

日時：11月27日(日) 10:30～12:30

費用：1組2,000円

申込：11月13日(日)までに申し込み。抽選10組

◆お正月

日時：12月27日(火) 10:30～12:30

費用：1組2,000円

申込：12月13日(火)までに申し込み。抽選10組